

事務事業評価調書

施策体系		全員活躍社会			所管課班		教職員課業務改善班						
事業名		障害者雇用の促進対策事業（令和元年度～）			連絡先		078-362-9424						
事業に要するコスト	区 分		29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額				
	事業費①		—		—		60,390千円		163,813千円				
	経費内訳	報酬・賃金	—		—		47,340千円		135,618千円				
		委託料	—		—		0千円		0千円				
		補助金・交付金	—		—		0千円		0千円				
		貸付金	—		—		0千円		0千円				
		その他需用費等	—		—		13,050千円		28,195千円				
	（財源内訳）	(国庫支出金)	—		—		(0千円)		(0千円)				
		(県債)	—		—		(0千円)		(0千円)				
		(その他[])	—		—		(0千円)		(0千円)				
		(一般財源)	—		—		(60,390千円)		(163,813千円)				
	人件費②（a+b+c）		従事人員	—	従事人員	—	従事人員	1.4人	従事人員	1.4人			
			—		—		12,465千円		12,576千円				
	職員給与費 a		—		—		10,791千円		10,773千円				
	賞与引当金繰入額 b		—		—		763千円		767千円				
退職手当引当金繰入額 c		—		—		911千円		1,036千円					
総コスト（①+②）		従事人員	—	従事人員	—	従事人員	1.4人	従事人員	1.4人				
		—		—		72,855千円		176,389千円					
[うち事業拡大分]		—		—		[0千円]		[103,423千円]					
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区 分		29年度実績		30年度実績		元年度見込		2年度目標		最終目標【年度】
	法定雇用率 R10年度最終目標 2.5% (R2までは2.4%)		目 標		—		—		2.40		2.40		法定雇用率の達成
			実績（見込）		—		—		(1.25)		(1.50)		【令和10年度】
			(単位当たりコスト)		—		—		(58,284千円)		(117,593千円)		/
			[うち事業拡大分]		—		—		—		[68,949千円]		
			達成率（見込）		—		—		(52.1%)		(62.5%)		
			目 標		—		—		—		—		
			実績（見込）		—		—		—		—		/
			(単位当たりコスト)		—		—		—		—		
			[うち事業拡大分]		—		—		—		—		
		達成率（見込）		—		—		—		—			
評 価	<p>①兵庫県教育委員会のR1年度障害者雇用率は1.25%であり、国が定める法定雇用率(2.4%)を下回っていること、②R3年度の雇用率算定から法定雇用率が2.5%に引き上げられることから、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町立学校における臨任・非常勤での障害者雇用の拡大 ・障害者人材バンクの活用促進 ・教員採用候補者選考試験における「障害者を対象とした特別選考」等の継続 <p>等により、R10年度での法定雇用率達成を目指す。</p> <p>また、前年度の雇用率を下回らないよう、ワークセンター嘱託員の雇用により雇用率の底上げを図るとともに、教育委員会内での一般雇用へのステップアップの場として活用する。</p>												
3年目の見直し	—												

事務事業評価調書

施策体系	全員活躍社会				所管課班	特別支援教育課教育推進班			
事業名	キャリア教育・就労支援推進事業（平成26年度～）				連絡先	078-362-3774(内5728)			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額				
	事業費①	20,887千円	22,990千円	12,172千円	12,563千円				
	経費内訳	報酬・賃金	4,219千円	4,272千円	4,272千円	3,931千円			
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円			
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	16,668千円	18,718千円	7,900千円	8,632千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(1,776千円)	(1,727千円)	(1,874千円)	(1,941千円)			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（その他[]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（一般財源）	(19,111千円)	(21,263千円)	(10,298千円)	(10,622千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人			
			2,711千円	2,603千円	2,671千円	2,695千円			
		職員給与費 a	2,352千円	2,345千円	2,312千円	2,309千円			
		賞与引当金繰入額 b	164千円	164千円	164千円	164千円			
退職手当引当金繰入額 c		195千円	94千円	195千円	222千円				
総コスト（①+②）	従事人員	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人				
		23,598千円	25,593千円	14,843千円	15,258千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	高等部卒業生の一般就労率 （活力あるふるさと兵庫実現プログラム） （目標：全国平均水準への引き上げ）	目 標	28	29	30	31	32		
		実績（見込）	25.6	29.1	(30.2)	(31)	【令和3年度】		
		（単位当たりコスト）	(922千円)	(879千円)	(491千円)	(492千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	達成率（見込）	91.4%	100.3%	(100.7%)	(100.0%)				
	—	目 標	—	—	—	—	—		
		実績（見込）	—	—	—	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	—		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—	—		
達成率（見込）	—	—	—	—	—				
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県特別支援学校技能検定について、平成27年度から作業部会を立ち上げ、ビルクリーニング部門と喫茶サービス部門の認定資格を企業と共同開発し、平成28年度にはプレ検定、平成29年度から本格実施した。 ・平成29年度には、新たに物流・品出し部門の認定資格を開発し、平成30年度にはプレ検定を行い、令和元年度に本格実施した。 ・令和2年度は新たにパソコンデータ入力部門の認定資格開発を行う。 ・早期からのキャリア教育と就職につながる実践的な学習を充実させることで、就労率を全国平均水準まで引き上げることを目指して取り組んだ。しかし、依然として低い状況であるため、引き続きキャリア教育を推進する。 								
3年目の見	—								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」		所管課班	スポーツ振興課 競技・生涯スポーツ班			
事業名	世界にはばたけ兵庫プロジェクト（平成19年度～）		連絡先	078-362-9446			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額		
	事業費①	180,594千円	180,548千円	180,548千円	180,548千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円	
		補助金・交付金	180,594千円	180,548千円	180,548千円	180,548千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（その他[]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（一般財源）	(180,594千円)	(180,548千円)	(180,548千円)	(180,548千円)	
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.4人	0.4人	0.4人	0.4人	
			3,614千円	3,470千円	3,561千円	3,593千円	
		職員給与費 a	3,136千円	3,126千円	3,083千円	3,078千円	
		賞与引当金繰入額 b	218千円	219千円	218千円	219千円	
退職手当引当金繰入額 c		260千円	125千円	260千円	296千円		
総コスト（①+②）	従事人員	0.4人	0.4人	0.4人	0.4人		
		184,208千円	184,018千円	184,109千円	184,141千円		
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度	2年度目標	最終目標【年度】
		国民体育大会天皇杯順位（男女総合成績） （スポーツ推進計画）	目標	8	8	8	8
		実績（見込）	12	10	13	(8)	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—	
		達成率（見込）	66.7%	80.0%	61.5%	(100.0%)	
	ジュニアスポーツ教室参加者数の増加 （スポーツ推進計画）	目標	6,600	6,700	6,800	6,900	
		実績（見込）	7,536	7,550	(7,500)	(7,500)	
		（単位当たりコスト）	(24千円)	(24千円)	(25千円)	(25千円)	
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—	
	達成率（見込）	88.9%	88.9%	100.0%	(108.7%)		
評価	国民体育大会の天皇杯（男女総合成績）は目標の8位を達成できなかったが、皇后杯（女子総合成績）は昨年より順位1つあげ、4年振りの8位入賞を果たし目標を達成することができた。 引き続き、（公財）兵庫県体育協会及び競技団体と連携のもと、選手強化・育成に努め、天皇杯・皇后杯ともに目標の達成に向けて取り組んでいく。						
	3年目の見直し						

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	スポーツ振興課 神戸マラソン 実行委員会事務局			
事業名	神戸マラソンの開催(平成23年度～)				連絡先	078-325-1430			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	67,800 千円		67,800 千円		68,883 千円		68,883 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	9,345 千円		9,345 千円		9,345 千円		9,345 千円
		委託料	58,455 千円		58,455 千円		58,455 千円		58,455 千円
		補助金・交付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円
		その他需用費等	0 千円		0 千円		1,083 千円		1,083 千円
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		(県債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		(その他[])	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		(一般財源)	(67,800千円)		(67,800千円)		(68,883千円)		(68,883千円)
	人件費② (a+b+c)	従事人員	8.0人		8.0人		8.0人		8.0人
			72,296 千円		69,416 千円		71,232 千円		71,864 千円
		職員給与費 a	62,728 千円		62,528 千円		61,664 千円		61,560 千円
		賞与引当金繰入額 b	4,360 千円		4,384 千円		4,360 千円		4,384 千円
退職手当引当金繰入額 c		5,208 千円		2,504 千円		5,208 千円		5,920 千円	
総コスト (①+②)	従事人員	8.0人		8.0人		8.0人		8.0人	
		140,096 千円		137,216 千円		140,115 千円		140,747 千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
			ランナーエントリー者数	目標	20,000	20,000		20,000	20,000
		実績(見込)	74,616	74,851	(79,196)	(79,200)			
		(単位当たりコスト)	(2千円)	(2千円)	(2千円)	(2千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
		達成率(見込)	373.1%	374.3%	(396.0%)	(396.0%)			
	ボランティア参加者数	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
			ボランティア参加者数	目標	7,500	7,200		7,200	7,200
		実績(見込)	7,071	6,808	(6,851)	(7,200)			
		(単位当たりコスト)	(20千円)	(20千円)	(20千円)	(20千円)			
	[うち事業拡大分]	—	—	—	—				
	達成率(見込)	94.3%	94.6%	(95.2%)	(100.0%)				
評価	<p>・事業目的の達成度を示す指標を概ね達成できている。 ・ボランティア参加者数については、目標数に達していないが、ボランティア運営はなんとか実施できた。 しかし、一人あたりの拘束時間が長い為、各ボランティアの負担軽減を行うべく、目標数の充足を目指し引き続き広報等に力を入れる。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	スポーツ振興課 競技・生涯スポーツ班			
事業名	「関西マスターズスポーツフェスティバル」開催事業（平成26年度～）				連絡先	078-362-9446			
事業に要するコスト	区 分	29年度決算額		30年度当初予算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	7,476千円		7,263千円		7,783千円		7,921千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	5,874千円		5,716千円		6,236千円		6,447千円
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	1,602千円		1,547千円		1,547千円		1,474千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[]）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	(7,476千円)		(7,263千円)		(7,783千円)		(7,921千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.3人		0.3人		0.3人		0.3人
			2,711千円		2,603千円		2,671千円		2,695千円
		職員給与費 a	2,352千円		2,345千円		2,312千円		2,309千円
		賞与引当金繰入額 b	164千円		164千円		164千円		164千円
退職手当引当金繰入額 c		195千円		94千円		195千円		222千円	
総コスト（①+②）	従事人員	0.3人		0.3人		0.3人		0.3人	
		10,187千円		9,866千円		10,454千円		10,616千円	
	〔うち事業拡大分〕	[0千円]		[0千円]		[530千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	29年度実績	30年度見込	31年度目標	2年度目標	最終目標【年度】		
		「関西マスターズスポーツフェスティバル」の大会数	目 標	70	75	80	100		
		実績（見込）	66	(63)	(80)	(100)			
		（単位当たりコスト）	(154千円)	(157千円)	(131千円)	(106千円)			
		〔うち事業拡大分〕	-	-	[7千円]	-			
		達成率（見込）	94.3%	(84.0%)	(100.0%)	(100.0%)			
	「関西マスターズスポーツフェスティバル」の競技者・参加者数	目 標	17,700	18,800	19,900	21,000			
		実績（見込）	15,212	(14,500)	(19,900)	(21,000)			
		（単位当たりコスト）	(1千円)	(1千円)	(1千円)	(1千円)			
		〔うち事業拡大分〕	-	-	[1千円]	-			
達成率（見込）		85.9%	(77.1%)	(100.0%)	(100.0%)				
評 価	<p>・一般県民に対し生涯スポーツに親しむ機会を数多く提供するとともに、本県開催競技の周知に向けた広報活動を展開するなど「ワールドマスターズゲームズ2021関西」に向けた機運醸成を図るのに有効である。</p> <p>・「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の各府県市開催競技が平成28年度に決定したことに伴い、ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会が行う広報と連携し、本県開催競技を中心とした関西マスターズスポーツフェスティバルの広報を行うことで、更なる県民のスポーツ参加機会の増大を図るなど事業の効率化を図る。</p> <p>・R1年度は大会数・競技者・参加者数目標を達成し、「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の機運醸成及び参加促進につながった。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」			所管課班	スポーツ振興課 競技・生涯スポーツ班			
事業名	ワールドマスターズゲームズ2021関西参加促進事業（平成30年度～）			連絡先	078-362-9446			
事業に要するコスト	区 分		29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額		
	事業費①		—	15,000 千円	15,000 千円	15,000 千円		
	経費内訳	報酬・賃金	—	0 千円	0 千円	0 千円		
		委託料	—	0 千円	0 千円	0 千円		
		補助金・交付金	—	15,000 千円	15,000 千円	15,000 千円		
		貸付金	—	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他需用費等	—	0 千円	0 千円	0 千円		
	(財源内訳)	(国庫支出金)	—	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(県債)	—	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(その他[勤労者福祉基金繰入金])	—	(15,000千円)	(15,000千円)	(15,000千円)		
		(一般財源)	—	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
	人件費② (a+b+c)		従事人員	—	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人
			—	2,662 千円	2,671 千円	2,695 千円		
	職員給与費	a	—	2,345 千円	2,312 千円	2,309 千円		
	賞与引当金繰入額	b	—	164 千円	164 千円	164 千円		
退職手当引当金繰入額	c	—	94 千円	195 千円	222 千円			
総コスト (①+②)		従事人員	—	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	
		—	17,662 千円	17,671 千円	17,695 千円			
[うち事業拡大分]		—	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
	地域企業及び大学とSC21との連携チームやWMG2021関西大会開催団体競技の新チーム等の設立数	目 標	—	75	100	100	/	
		実績(見込)	—	44	(60)	(100)		
		(単位当たりコスト)	—	(401 千円)	(295 千円)	(177 千円)		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—		
		達成率(見込)	—	58.7%	(60.0%)	(100.0%)		
		目 標	—	—	—	—	/	
		実績(見込)	—	—	—	—		
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—		
達成率(見込)		—	—	—	—			
評 価	<p>・本事業を通じて、ワールドマスターズゲームズ2021関西への県民の参加促進及び、大会の認知度向上を図る。</p> <p>・大会開催前年度である令和2年度に向け、大会参加者の獲得に向け積極的な広報を図るなど各クラブへの周知を徹底する。</p>							
3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」		所管課班	スポーツ振興課 国際広域スポーツ班			
事業名	東京オリンピック・パラリンピック応援事業（平成27年度～）		連絡先	078-362-3788			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度当初予算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額		
	事業費①	9,855千円	10,379千円	17,536千円	103,396千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	9,175千円	9,487千円	12,716千円	0千円	
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	103,396千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他需用費等	680千円	892千円	4,820千円	0千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（その他[宝くじ発行益金収入]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(23,970千円)	
		（一般財源）	(9,855千円)	(10,379千円)	(17,536千円)	(79,426千円)	
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.4人	0.8人	1.2人	1.2人	
			3,614千円	6,941千円	10,685千円	10,780千円	
		職員給与費 a	3,136千円	6,253千円	9,250千円	9,234千円	
		賞与引当金繰入額 b	218千円	438千円	654千円	658千円	
退職手当引当金繰入額 c		260千円	250千円	781千円	888千円		
総コスト（①+②）	従事人員	0.4人	0.8人	1.2人	1.2人		
		13,469千円	17,320千円	28,221千円	114,176千円		
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[10,746千円]	[75,174千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】
	県内施設を活用した事前合宿実施に向けた視察受入国(チーム)数 ※R2年度については合宿実施国(チーム数)	目 標	4	8	10	5	
		実績(見込)	4	8	(9)	(5)	
		(単位当たりコスト)	-	-	(3,136千円)	(22,835千円)	
		[うち事業拡大分]	-	-	[1,194千円]	[15,035千円]	
		達成率(見込)	-	-	(90.0%)	(100.0%)	
	事前合宿時に実施した交流事業の参加人数及び視察人数	目 標	-	200	2,000	2,000	2,000
		実績(見込)	-	200	(200)	(2,000)	【令和2年度】
		(単位当たりコスト)	-	87	(141千円)	(57千円)	
		[うち事業拡大分]	-	-	[54千円]	[38千円]	
達成率(見込)		-	100.0%	(10.0%)	(100.0%)		
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピックの成功に向け、各国代表チームの事前合宿受け入れ及び交流事業を実施する。 ・国際レベルのアスリートが参加する大会や合宿は、県のスポーツ振興や地域の活性化などの成果を上げるとともに、その活力を翌年のワールドマスターズゲーム2021関西の成功につなげるため、本事業は有効である。 						
3年目の見直し	-						

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」			所管課班	スポーツ振興課 競技・生涯スポーツ班		
事業名	未来のスーパーアスリート支援事業（平成26年度～）			連絡先	078-362-9446		
事業に要するコスト	区 分		29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額	
	事業費①		45,500千円	45,500千円	45,500千円	45,500千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円	
		補助金・交付金	45,500千円	45,500千円	45,500千円	45,500千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（その他[]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（一般財源）	(45,500千円)	(45,500千円)	(45,500千円)	(45,500千円)	
	人件費②（a+b+c）		従事人員 0.4人	従事人員 0.4人	従事人員 0.4人	従事人員 0.4人	
			3,614千円	3,470千円	3,561千円	3,593千円	
	職員給与費 a	3,136千円	3,126千円	3,083千円	3,078千円		
	賞与引当金繰入額 b	218千円	219千円	218千円	219千円		
退職手当引当金繰入額 c	260千円	125千円	260千円	296千円			
総コスト（①+②）		従事人員 0.4人	従事人員 0.4人	従事人員 0.4人	従事人員 0.4人		
		49,114千円	48,970千円	49,061千円	49,093千円		
[うち事業拡大分]		[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	29年度実績	30年度実績	元年度	2年度目標	最終目標【年度】
	国内外で活躍する本県選手数(オリンピック等国際大会の出場者及び全日本選手権等全国大会の優勝・準優勝者)	目 標	520	540	460	460	460人
	(スポーツ推進計画)	実績(見込)	400	481	(375)	(460)	【令和3年度】
		(単位当たりコスト)	(123千円)	(102千円)	(131千円)	(107千円)	
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—	
	達成率(見込)	76.9%	89.1%	81.5%	(100.0%)		
評価	<p>・兵庫県のスポーツ選手がオリンピック・世界選手権等で活躍することは、県民に大きな夢と感動を与え、スポーツへの意識を高めるなど、本県のスポーツ推進に大きく寄与するものである。</p> <p>・平成30年度のバレーボール（インターハイ等）、ラグビー（トップリーグ）等の団体競技の活躍により急激に増加した。それに比べ令和元年度は活躍選手数が減少したものの、東京五輪出場内定者が複数出ており、対象選手によるオリンピックや世界選手権等の国際大会に向けた強化の成果が出ているところであり、引き続き1人でも多くの国内外で活躍する本県選手が輩出されるよう支援していく。</p>						
3年目の見直し	—						

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	社会教育課施設・管理班			
事業名	県立美術館の元気づくり事業（平成19年度～）				連絡先	078-362-9434			
事業に要するコスト	区 分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	7,492千円		7,280千円		7,280千円		7,280千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	7,492千円		7,280千円		7,280千円		7,280千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[美術館使用料等]）	(5,570千円)		(5,570千円)		(5,570千円)		(5,570千円)
		（一般財源）	(1,922千円)		(1,710千円)		(1,710千円)		(1,710千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.3人		0.3人		0.3人		0.3人
			2,711千円		2,603千円		2,671千円		2,695千円
		職員給与費 a	2,352千円		2,345千円		2,312千円		2,309千円
		賞与引当金繰入額 b	164千円		164千円		164千円		164千円
退職手当引当金繰入額 c		195千円		94千円		195千円		222千円	
総コスト（①+②）	従事人員	0.3人		0.3人		0.3人		0.3人	
		10,203千円		9,883千円		9,951千円		9,975千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		目 標	400	400	400	400	400		
	KEN-VI文化セミナー入場者数	実績（見込）	733	1,292	(2,636)	(400)			
		（単位当たりコスト）	(14千円)	(8千円)	(4千円)	(25千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
		達成率（見込）	183.3%	323.0%	(659.0%)	(100.0%)			
	学校関係団体等の入場者数	目 標	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000		
		実績（見込）	13,373	13,323	(11,056)	(13,000)			
		（単位当たりコスト）	(1千円)	(1千円)	(1千円)	(1千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
達成率（見込）		102.9%	102.5%	(85.0%)	(100.0%)				
評 価	<p>「KEN-VI文化セミナー」「学校関係団体等」の入場者数は徐々に増加しており、事業実施効果が高くなっている。引き続き、子どもたちや美術に関心の薄い層に美術に親しむ機会をつくることにより、将来的に芸術文化に興味を持ってもらえるようにすることを重要視し、目標の達成に向けて継続的に取り組んでいく。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	社会教育課施設・管理班		
事業名	篠山層群化石を活用した地域活性化の推進（平成18年度～）				連絡先	078-362-9434		
事業に要するコスト	区 分		29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額		
	事業費①		19,130千円	18,550千円	18,550千円	14,596千円		
	経費内訳	報酬・賃金	14,408千円	14,340千円	14,340千円	10,200千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	4,722千円	4,210千円	4,210千円	4,396千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他[]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（一般財源）	(19,130千円)	(18,550千円)	(18,550千円)	(14,596千円)		
	人件費②（a+b+c）		従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	0.1人	
			904千円	868千円	891千円	899千円		
	職員給与費 a	784千円	782千円	771千円	770千円			
	賞与引当金繰入額 b	55千円	55千円	55千円	55千円			
退職手当引当金繰入額 c	65千円	31千円	65千円	74千円				
総コスト（①+②）		従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	0.1人		
		20,034千円	19,418千円	19,441千円	15,495千円			
[うち事業拡大部分]		[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
	ボランティア人材の登録数（活力あるふるさと兵庫実現プログラム目標における指標）	目 標	15	33	50	60	合計100名 【令和8年度】	
		実績（見込）	26	56	(88)	(98)		
		達成率（見込）	173.3%	169.7%	176.0%	163.3%		
評価	<p>・化石の剖出作業には熟練した技術が必要であり、篠山層群化石の調査・研究を推進していくためには、更なる人材の育成が不可欠となっている。また、事業の活性化を図る上で、ボランティアの参画は重要であるが、育成・活用する仕組みがさらに重要であり、今後もこれらの仕組みの構築を目指していく。</p> <p>・予想を上回るボランティアの登録があり順調ではあるが、化石の剖出にあたっては、人材育成には多くの時間がかかるため、研修システムの見直しを図るなど効率的で安定した事業を推進していく。</p> <p>・ボランティア人材の登録は概ね最終目標を達成している。今後も篠山層群化石の調査研究とともに活用を進めるには、ボランティア人材の参画が不可欠であることから、現在の規模を維持し、安定的に育成・活用できる体制づくりを構築する。</p>							
3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」				所管課班	文化財課文化財班			
事業名	ひょうごの歴史研究推進(平成27年度～)				連絡先	078-362-3784			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	11,288千円		11,763千円		11,763千円		12,004千円	
	経費内訳	報酬・賃金	7,270千円		7,168千円		7,186千円		6,033千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	220千円		700千円		220千円		220千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	3,798千円		3,895千円		4,357千円		5,751千円
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		(県債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		(その他[])	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		(一般財源)	(11,288千円)		(11,763千円)		(11,763千円)		(12,004千円)
	人件費②(a+b+c)	従事人員	0.8人		0.8人		0.8人		0.8人
			7,230千円		6,941千円		7,123千円		7,186千円
		職員給与費 a	6,273千円		6,253千円		6,166千円		6,156千円
		賞与引当金繰入額 b	436千円		438千円		436千円		438千円
退職手当引当金繰入額 c		521千円		250千円		521千円		592千円	
総コスト(①+②)	従事人員	0.8人		0.8人		0.8人		0.8人	
		18,518千円		18,704千円		18,886千円		19,190千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		公開講座等の参加のべ人数	目標	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
		実績(見込)	680	800	(1,000)	(1,000)			
		(単位当たりコスト)	(27千円)	(23千円)	(19千円)	(19千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
		達成率(見込)	68.0%	80.0%	(100.0%)	(100.0%)			
	「次回も公開講座に参加したい」と回答した参加者の割合	目標	80%	80%	80%	80%			
		実績(見込)	80%	80%	(80%)	(80%)			
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
	達成率(見込)	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)				
評価	<ul style="list-style-type: none"> これまで同様、歴史博物館、考古博物館のほか、大学の研究者、市町文化財担当者に調査研究を委嘱することで事業コストの削減に努めてきた。 成果発表を洲本市文化体育館で開催するなど、広域的な調査研究を展開すると共に、淡路島日本遺産委員会と連携することで地域振興、観光振興に貢献できた。 公開講座等への参加のべ人数は増加しており、内容も好評価を得て、広く地域文化遺産のすばらしさを周知できた。また、5年の研究成果として兵庫歴史研究室紀要第5号の刊行に加え、別冊として「たたら製鉄史料集」を刊行する。 								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	体育保健課学校体育班			
事業名	オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業（平成29年度～）				連絡先	078-362-3787			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額				
	事業費①	167千円	2,718千円	6,824千円	6,440千円				
	経費内訳	報酬・賃金	44千円	1,392千円	3,610千円	2,178千円			
		委託料	0千円	788千円	1,736千円	1,736千円			
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	123千円	538千円	1,478千円	2,526千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(2,718千円)	(6,824千円)	(6,440千円)			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（その他[]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（一般財源）	(167千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人
			904千円	868千円	891千円	899千円			
		職員給与費 a	784千円	782千円	771千円	770千円			
		賞与引当金繰入額 b	55千円	55千円	55千円	55千円			
退職手当引当金繰入額 c		65千円	31千円	65千円	74千円				
総コスト（①+②）	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	
		1,071千円	3,586千円	7,715千円	7,339千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[1,014千円]	[1,014千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
			教育推進校の認定数	目 標	—	19		19	19
	実績（見込）	—	3	(18)	(19)				
	(単位当たりコスト)	—	(1,195千円)	(429千円)	(386千円)				
	[うち事業拡大分]	—	—	[56千円]	[53千円]				
	達成率（見込）	—	15.8%	(94.7%)	(100.0%)				
	目 標	—	—	—	—				
	実績（見込）	—	—	—	—				
	(単位当たりコスト)	—	—	—	—				
	[うち事業拡大分]	—	—	—	—				
達成率（見込）	—	—	—	—					
評価	<p>・本県ではこれまで多数のオリンピック・パラリンピック選手を輩出しており、兵庫県の恵まれた人材を有効に活用し2020年東京オリンピック・パラリンピックの機運醸成を図るとともに、スポーツの価値や効果の再認識を通じ、国際的な視野を持って正解の平和に向けて貢献できる人材を育成するため、全県に教育推進校を認定し、オリンピック・パラリンピック教育等の充実を図る。</p> <p>・各地区の小学校・中学校・県立学校に教育推進校を指定し、学校の実情やニーズに応じてオリンピック・パラリンピック教育を実施する。</p> <p>・兵庫県ゆかりのオリンピック・パラリンピアンを学校が指導する内容に応じて派遣できるよう支援する。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑むづくり			所管課班	体育保健課学校体育班			
事業名	「体力アップひょうご」サポート事業（平成24年度～）			連絡先	078-362-3787			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額			
	事業費①	5,939千円	5,687千円	5,705千円	7,789千円			
	経費内訳	報酬・賃金	1,624千円	1,642千円	1,663千円	2,675千円		
		委託料	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円		
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	3,325千円	3,045千円	3,042千円	4,114千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他[]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（一般財源）	(5,939千円)	(5,687千円)	(5,705千円)	(7,789千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人		
			904千円	868千円	891千円	899千円		
		職員給与費 a	784千円	782千円	771千円	770千円		
		賞与引当金繰入額 b	55千円	55千円	55千円	55千円		
退職手当引当金繰入額 c		65千円	31千円	65千円	74千円			
総コスト（①+②）	従事人員	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人			
		6,843千円	6,555千円	6,596千円	8,688千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[2,000千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
	昭和60年頃の子どもの体力水準に達している項目の割合(22項目)	目標	50	50	—	—		
		実績（見込）	32	23	—	—		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—		
	達成率（見込）	63.6%	45.4%	—	—			
	新体力テスト総合評価(A+B)の割合	目標	—	—	小 36% 中 44% 高 55%	小 37% 中 45% 高 56%		
		実績（見込）	—	—	(小 33%) (中 42%) (高 55%)	(小 37%) (中 45%) (高 56%)		
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—		
	達成率（見込）	—	—	(小 91.6%) (中 95.4%) (高 100.0%)	(小 100.0%) (中 100.0%) (高 100.0%)			
	体力アップサポーター派遣校数	目標	325	395	465	535		
実績（見込）		315	386	(453)	(535)			
（単位当たりコスト）		(22千円)	(17千円)	(15千円)	(16千円)			
[うち事業拡大分]		—	—	—	[4千円]			
達成率（見込）	96.9%	97.7%	(97.4%)	(100.0%)				
評価	<p>教科書がない小学校体育において、専門性に優れた地域の指導者を活用し児童の運動習慣を図るとともに、教員の指導力を向上させていく必要がある。また、県内児童生徒の体力・運動能力について引き続き検証するため、調査・分析を実施する必要がある。</p> <p>昭和60年頃の子どもの体力水準に達している項目の割合については、特に小学校の達成項目が低く、スポーツ推進計画に示している目標値には届いていない。令和元年度からは指標を「新体力テスト総合評価（A+B）の割合」とし、引き続き、体力アップサポート派遣校の実践を周知させるとともに、令和2年度から新たに県平均を下回る市町に対し体力アップアドバイザーを派遣するなど、小学生の体力向上を図る。</p>							
	3年目の見直し	—						

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	義務教育課 初等・中学校教育班			
事業名	自然学校推進事業（昭和63年度～）				連絡先	078-362-3771			
事業に要するコスト	区 分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	353,995千円		355,466千円		352,840千円		345,822千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	353,995千円		355,466千円		352,840千円		345,822千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	0千円		0千円		0千円		0千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[]）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	(353,995千円)		(355,466千円)		(352,840千円)		(345,822千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人
			9,037千円		8,677千円		8,904千円		8,983千円
		職員給与費 a	7,841千円		7,816千円		7,708千円		7,695千円
		賞与引当金繰入額 b	545千円		548千円		545千円		548千円
退職手当引当金繰入額 c		651千円		313千円		651千円		740千円	
総コスト（①+②）	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人	
		363,032千円		364,143千円		361,744千円		354,805千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	自然学校実施校数(地域創生戦略推進に係るアクションプラン)	目 標	752	749	748	744			
		実績(見込)	752	749	(748)	(744)			
		(単位当たりコスト)	(0千円)	(486千円)	(484千円)	(477千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	達成率(見込)	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)				
	地域と協働してふるさとの自然の良さに気づく学習プログラムを実施した学校の割合(21世紀兵庫長期ビジョンフォローアップ指標)	目 標	100	100	100	100			
		実績(見込)	95	98	(100)	(100)			
		(単位当たりコスト)	(3,813千円)	(3,716千円)	(3,617千円)	(3,548千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
達成率(見込)	95.2%	98.0%	(100.0%)	(100.0%)					
評 価	節目に検討委員会を設けてコスト面も含めて評価を行っている。また、実施にあたっては、事前・事後活動の充実やキャリア教育の視点からの見直しなど改善を図りながら、効率的に事業を推進している。								
	3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	義務教育課 初等・中学校教育班			
事業名	環境体験事業（平成19年度～）				連絡先	078-362-3771			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	90,618千円		89,886千円		88,941千円		88,588千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	90,618千円		89,886千円		88,941千円		88,588千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	0千円		0千円		0千円		0千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[]）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	(90,618千円)		(89,886千円)		(88,941千円)		(88,588千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人
			9,037千円		8,677千円		8,904千円		8,983千円
		職員給与費 a	7,841千円		7,816千円		7,708千円		7,695千円
		賞与引当金繰入額 b	545千円		548千円		545千円		548千円
退職手当引当金繰入額 c		651千円		313千円		651千円		740千円	
総コスト（①+②）	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人	
		99,655千円		98,563千円		97,845千円		97,571千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	体験型環境学習実施校数（地域創生戦略推進に係るアクションプラン）	目標	752	749	748	744			
		実績（見込）	752	749	(748)	(744)			
		（単位当たりコスト）	(133千円)	(132千円)	(131千円)	(131千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
	達成率（見込）	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)				
	地域と協働してふるさとの自然の良さに気づく学習プログラムを実施した学校の割合（21世紀兵庫長期ビジョンフォローアップ指標）	目標	100	100	100	100			
		実績（見込）	95	98	(100)	(100)			
		（単位当たりコスト）	(1,047千円)	(1,006千円)	(978千円)	(976千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
達成率（見込）	95.2%	98.0%	(100.0%)	(100.0%)					
評価	学校の身近な場所での活動支援のため、県民局や関係機関と連携し、学校の要望に応じた多様なボランティアや地域の支援者の紹介や、テーマ別プログラムの開発等を行うなど、実施に係るコスト面の効率化を図っている。								
	3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり			所管課班	高校教育課 生徒指導班 教育指導班 (高校改革担当)			
事業名	「兵庫型体験教育」を通じた”ふるさと意識”の醸成 (平成10年度～)			連絡先	078-362-3778 078-362-3817			
事業に要するコスト	区 分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額			
	事業費①	351,560 千円	358,799 千円	371,152 千円	376,298 千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
		委託料	10,517 千円	15,681 千円	4,849 千円	4,849 千円		
		補助金・交付金	298,826 千円	316,358 千円	304,211 千円	310,498 千円		
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他需用費等	42,217 千円	26,760 千円	62,092 千円	60,951 千円		
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(県債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(その他[])	(129,692千円)	(129,199千円)	(130,405千円)	(123,680千円)		
		(一般財源)	(221,868千円)	(229,600千円)	(240,747千円)	(252,618千円)		
	人件費② (a+b+c)	従事人員	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人		
			4,520 千円	4,339 千円	4,453 千円	4,492 千円		
		職員給与費 a	3,921 千円	3,908 千円	3,854 千円	3,848 千円		
		賞与引当金繰入額 b	273 千円	274 千円	273 千円	274 千円		
退職手当引当金繰入額 c		326 千円	157 千円	326 千円	370 千円			
総コスト (①+②)	従事人員	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人			
		356,080 千円	363,138 千円	375,605 千円	380,790 千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
		目 標	147校	147校	147校	147校	147校	
	高校生ふるさと貢献・活性化活動に取り組んだ県立高等学校数 (活力あるふるさと兵庫実現プログラム)	実績 (見込)	147校	147校	(147校)	(147校)	/	
		(単位当たりコスト)	(2,422 千円)	(2,470 千円)	(2,555 千円)	(2,590 千円)		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-		
		達成率 (見込)	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)		
	トライやる・ウィークの公立中学校の実施割合 (全県ビジョン推進方策フォローアップ指標)	目 標	100%	100%	100%	100%	/	
		実績 (見込)	100%	100%	100%	100%		
		(単位当たりコスト)	(356,080 千円)	(363,138 千円)	(375,605 千円)	(380,790 千円)		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-		
達成率 (見込)	-	-	-	-				
評価	地域の教育力の低下や子どもの自然体験、社会体験の不足が指摘されている中、生徒一人一人が地域社会の一員としての自覚や態度を醸成し、豊かな人間性の涵養を図るため、生徒の発達段階に応じた体系的な兵庫型「体験教育」の充実を図っていく必要がある。							
	3年目の見直し	-						

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	高校教育課教育指導班 (高校改革担当)			
事業名	県立高校の特色化の推進 (平成22年度～)				連絡先	078-362-3817			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	74,250千円		74,250千円		74,250千円		74,250千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	74,250千円		74,250千円		74,250千円		74,250千円
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		(県債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		(その他[])	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		(一般財源)	(74,250千円)		(74,250千円)		(74,250千円)		(74,250千円)
	人件費② (a+b+c)	従事人員	0.5人		0.5人		0.5人		0.5人
			4,520千円		4,339千円		4,453千円		4,492千円
		職員給与費 a	3,921千円		3,908千円		3,854千円		3,848千円
		賞与引当金繰入額 b	273千円		274千円		273千円		274千円
退職手当引当金繰入額 c		326千円		157千円		326千円		370千円	
総コスト (①+②) [うち事業拡大分]	従事人員	0.5人		0.5人		0.5人		0.5人	
		78,770千円		78,589千円		78,703千円		78,742千円	
		[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		目 標	147校	147校	147校	147校	147校		
	県立高校特色づくり推進事業実施校数 (地域創生戦略推進に係るアクションプラン)	実績(見込)	147校	147校	(147校)	(147校)	/		
		(単位当たりコスト)	(536千円)	(535千円)	(535千円)	(536千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
		達成率(見込)	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)			
	-	目 標	-	-	-	-	-		
		実績(見込)	-	-	-	-			
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
達成率(見込)	-	-	-	-					
評価	<p>・生徒・保護者の高校選択のニーズの変化などを踏まえ、生徒一人一人が自らの良さや可能性を見つけ、充実感をもって自己実現が図れるよう各学校の特色に応じた教育環境を推進する必要がある、魅力ある学校づくりを通じて将来の兵庫県を担う人材の育成に有効である。</p> <p>・各校からの研究内容の提案を十分精査し予算配分を行うなど、コスト面での工夫を図るとともに、生徒が魅力を感じる教育内容を展開するため創意工夫を促し、各校の魅力・特色づくりにつなげる。</p>								
	3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	義務教育課 初等・中学校教育班			
事業名	学習支援ツール活用モデル事業（平成28年度～）				連絡先	078-362-3771			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額				
	事業費①	10,176千円	7,920千円	3,744千円	—				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	—			
		委託料	10,176千円	7,920千円	3,744千円	—			
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	—			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	—			
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	—			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	—			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	—			
		（その他[]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	—			
		（一般財源）	(10,176千円)	(7,920千円)	(3,744千円)	—			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	1.0人	1.0人	1.0人	—			
			9,037千円	8,677千円	8,904千円	—			
		職員給与費 a	7,841千円	7,816千円	7,708千円	—			
		賞与引当金繰入額 b	545千円	548千円	545千円	—			
退職手当引当金繰入額 c		651千円	313千円	651千円	—				
総コスト（①+②）	従事人員	1.0人	1.0人	1.0人	—				
		19,213千円	16,597千円	12,648千円	—				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	—				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	「全国学力・学習状況調査」における学力調査(8科目)で全科目全国平均以上の科目数(地域創生戦略推進に係るアクションプラン)	目標	8	8	8	—	8		
		実績(見込)	6	5	(8)	—	【令和元年度】		
		(単位当たりコスト)	(3,202千円)	(3,319千円)	(1,581千円)	—	/		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	達成率(見込)	75.0%	62.5%	(100.0%)	—				
	学習支援ツール活用モデル事業実施市町数(活力あるふるさと兵庫実現プログラム)	目標	9	9	5	—	5		
		実績(見込)	9	9	(5)	—	【令和元年度】		
		(単位当たりコスト)	(2,135千円)	(1,844千円)	(2,530千円)	—	/		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
達成率(見込)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	—					
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・1校あたりの補助額に上限を設けているものの、モデル市町の選定にあたっては、希望市町から企画提案書の提出を求め、最小の予算(経費)で最大の効果が得られるよう、コストを抑えた提案内容となっているか引き続き審査を実施。 ・目標の達成度については、本事業のねらいとしている学力の向上と学習意欲の向上に関する指標を用いた。 ・R1モデル事業を終了し、効果的な事例等についての周知を図った上で、R2は各市町で展開する。 								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	体育保健課学校体育班			
事業名	運動部活動活性化推進事業（平成29年度～）				連絡先	078-362-3787			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	11,784千円		8,244千円		34,441千円		62,316千円	
	経費内訳	報酬・賃金	6,122千円		6,122千円		33,408千円		61,283千円
		委託料	1,013千円		434千円		836千円		836千円
		補助金・交付金	3,034千円		0千円		197千円		197千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	1,615千円		1,688千円		0千円		0千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(0千円)		(12,996千円)		(21,679千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[]）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	(11,784千円)		(8,244千円)		(21,445千円)		(40,637千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.1人		0.1人		0.1人		0.1人
			904千円		868千円		891千円		899千円
		職員給与費 a	784千円		782千円		771千円		770千円
		賞与引当金繰入額 b	55千円		55千円		55千円		55千円
退職手当引当金繰入額 c		65千円		31千円		65千円		74千円	
総コスト（①+②）	従事人員	0.1人		0.1人		0.1人		0.1人	
		12,688千円		9,112千円		35,332千円		63,215千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[197千円]		[27,875千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	中学校部活動指導員の配置市町組合数(H29は外部指導者)	目標	—	—	21市町組合	28市町組合	/		
		実績（見込）	—	—	(21市町組合)	(28市町組合)			
		(単位当たりコスト)	—	—	(1,682千円)	(2,258千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	[9千円]	[996千円]			
	達成率（見込）	—	—	—	—				
	高等学校部活動指導員の配置人数(H29、30は外部指導者)	目標	55	55	55	55	/		
		実績（見込）	55	55	(55)	(55)			
		(単位当たりコスト)	(231千円)	(166千円)	(642千円)	(1,149千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	[4千円]	[507千円]			
達成率（見込）	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)					
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校は平成30年度から、高等学校は次年度から指導者不足により専門的な技術指導を受けられない生徒のために、部活動指導員を配置する。（※中学校部活動指導員配置促進事業はH31より本事業と統合） ・ 中学校部活動指導員の配置を希望する市町のうち、地域の人材不足により部活動指導員の配置が困難な市町に限り、民間が行うICTを活用したオンラインによる遠隔技術指導を受けることで、指導に悩む部活動顧問をサポートするとともに、一人でも多くの生徒がスポーツを楽しみ、成長できる環境を整える。 ・ これらの取組により、正しい理解に基づく技術の向上や生徒の能力に応じた適切な練習法の導入、事故やけがの防止など「部活動の質的な向上」を図る。 								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	次代を支え挑戦する人を創る				所管課班	教職員課業務改善班				
事業名	教職員勤務時間適正化事業（平成30年度～）				連絡先	078-362-9424				
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額		
	事業費①	—		33,875千円		105,285千円		113,614千円		
	経費内訳	報酬・賃金	—		33,875千円		91,056千円		99,353千円	
		委託料	—		0千円		0千円		0千円	
		補助金・交付金	—		0千円		0千円		0千円	
		貸付金	—		0千円		0千円		0千円	
		その他需用費等	—		0千円		14,229千円		14,261千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	—		(11,291千円)		(11,956千円)		(36,147千円)	
		（県債）	—		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（その他[]）	—		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（一般財源）	—		(22,584千円)		(93,329千円)		(77,467千円)	
	人件費②（a+b+c）	従事人員	—		0.1人		0.1人		0.1人	
			—		868千円		891千円		899千円	
		職員給与費 a	—		782千円		771千円		770千円	
		賞与引当金繰入額 b	—		55千円		55千円		55千円	
退職手当引当金繰入額 c		—		31千円		65千円		74千円		
総コスト（①+②）	従事人員	—		0.1人		0.1人		0.1人		
		—		34,743千円		106,176千円		114,513千円		
	[うち事業拡大分]	—		[0千円]		[66,648千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】			
		県立学校教職員1人あたり年休取得日数	目標	—	10	10	10	10日以上		
		実績（見込）	—	12.3	(12.3)	(12.3)				
		（単位当たりコスト）	—	(2,825千円)	(8,632千円)	(9,310千円)				
		[うち事業拡大分]	—	—	[5,419千円]	—				
		達成率（見込）	—	123.0%	(123.0%)	(123.0%)				
		目標	—	—	—	—				
		実績（見込）	—	—	—	—				
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—				
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—				
	達成率（見込）	—	—	—	—					
評価	<p>（県立学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> 県立学校教員等の超過勤務縮減を図るため、授業準備等を担う県立学校業務支援員（地域の外部人材）を県立学校152校に配置。 教育職員の業務量の適切な管理等に関する方針を定め、従事時間申告表による在校等時間の適正な管理を行うとともに、定時退勤日等の完全実施や各学校での業務改善に取り組む組織体制を確立など、教職員の意識改革を図り、教職員の総業務量の削減を目指す。 <p>（市町立学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業準備等を担うスクール・サポート・スタッフを各市町1名ずつモデル的に配置している。 各市町教育委員会においても、県と同様に教育職員の業務量の適切な管理等に関する方針を定めることとなることから、この方針に基づく総業務量の削減に向けた取り組みを、県として支援していく。 									
	3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	義務教育課 初等・中学校教育班			
事業名	スーパーティーチャー派遣事業（平成21年度～）				連絡先	078-362-3771			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額				
	事業費①	13,578千円	13,693千円	13,693千円	13,351千円				
	経費内訳	報酬・賃金	13,578千円	13,693千円	13,693千円	13,351千円			
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円			
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（その他[]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（一般財源）	(13,578千円)	(13,693千円)	(13,693千円)	(13,351千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人			
			9,037千円	8,677千円	8,904千円	8,983千円			
		職員給与費 a	7,841千円	7,816千円	7,708千円	7,695千円			
		賞与引当金繰入額 b	545千円	548千円	545千円	548千円			
退職手当引当金繰入額 c		651千円	313千円	651千円	740千円				
総コスト（①+②）	従事人員	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人				
		22,615千円	22,370千円	22,597千円	22,334千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	スーパーティーチャーの派遣述べ回数全小中学校数以上（21世紀兵庫長期ビジョンフォローアップ指標）	目標	846	843	841	836	836		
		実績（見込）	847	954	(980)	(980)			
		（単位当たりコスト）	(27千円)	(23千円)	(23千円)	(23千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
	達成率（見込）	100.1%	113.2%	(116.5%)	(117.2%)				
	-	目標	-	-	-	-	-		
		実績（見込）	-	-	-	-	-		
		（単位当たりコスト）	-	-	-	-			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
達成率（見込）	-	-	-	-					
評価	平成28年度に事業の見直しを行い、配置人数を18人から12人に縮小したが、勤務期間を年間10ヶ月から11ヶ月に延長することにより、訪問体制の維持を図っている。 各教育事務所に設置する学力向上支援チーム会議を通じて、日頃より市町や学校と情報を共有し、課題に即応した派遣を行っており、実施コスト面での効率化を図っている。								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	高校教育課教育指導班			
事業名	外国人児童生徒のための学習支援事業 ①高等学校特別入学実施校事業（平成28年度～）				連絡先	078-362-9444			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	11,994千円		12,020千円		29,135千円		29,135千円	
	経費内訳	報酬・賃金	10,509千円		10,547千円		26,460千円		26,460千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	1,485千円		1,473千円		2,675千円		2,675千円
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		(県債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		(その他[])	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		(一般財源)	(11,994千円)		(12,020千円)		(29,135千円)		(29,135千円)
	人件費② (a+b+c)	従事人員	0.1人		0.1人		0.1人		0.1人
			904千円		868千円		891千円		899千円
		職員給与費 a	784千円		782千円		771千円		770千円
		賞与引当金繰入額 b	55千円		55千円		55千円		55千円
退職手当引当金繰入額 c		65千円		31千円		65千円		74千円	
総コスト (①+②)	従事人員	0.1人		0.1人		0.1人		0.1人	
		12,898千円		12,888千円		30,026千円		30,034千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[17,118千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		特別枠を設置する県立高校に入学し、支援を受けた生徒数 (地域創生戦略推進に係るアクションプラン)	目標	9	9	15	15	15	
		実績(見込)	8	(9)	(10)	(15)			
		(単位当たりコスト)	(1,612千円)	(1,432千円)	(3,003千円)	(2,002千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	[1,712千円]	-			
		達成率(見込)	88.9%	(100.0%)	(66.7%)	(100.0%)			
	特別枠を設置する県立高校の日本語指導が必要な外国人生徒に対する外国語支援員の1週間当たりの指導時数	目標	54	54	80	80	80		
		実績(見込)	54	(57)	(80)	(80)			
		(単位当たりコスト)	(239千円)	(226千円)	(375千円)	(375千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	[214千円]	-			
	達成率(見込)	100.0%	(105.6%)	(100.0%)	(100.0%)				
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲や学力を有するにもかかわらず日本語能力が十分ではないため、全日制高校に進学することが難しい外国人生徒の学習機会の充実が必要であり、外国人生徒の進路選択の幅を広げるための方策の一つとして有効である。 ・平成28年度からの3年間のモデル校3校において、入学後の外国人生徒に対する適切な支援体制のあり方について研究を行い、支援員等の効果的な配置方法を確立してきた。それらの成果を踏まえ、支援が必要な生徒や実施校の地域バランスを考えて実施校数を令和元年度に見直した(3校→5校) 								
	3年目の見直し	-							

事務事業評価調査

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	人権教育課指導・事業班			
事業名	②外国人児童生徒のための学習支援事業（平成28年度～）				連絡先	078-362-3770			
事業に要するコスト	区 分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	6,359千円		6,368千円		6,406千円		6,553千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	4,571千円		4,965千円		6,006千円		6,123千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	1,788千円		1,403千円		400千円		430千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(2,119千円)		(2,122千円)		(2,135千円)		(2,185千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[]）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	(4,240千円)		(4,246千円)		(4,271千円)		(4,368千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.1人		0.1人		0.1人		0.1人
			904千円		868千円		891千円		899千円
		職員給与費 a	784千円		782千円		771千円		770千円
		賞与引当金繰入額 b	55千円		55千円		55千円		55千円
退職手当引当金繰入額 c		65千円		31千円		65千円		74千円	
総コスト（①+②）	従事人員	0.1人		0.1人		0.1人		0.1人	
		7,263千円		7,236千円		7,297千円		7,452千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		目 標	3	4	4	4			
		実績（見込）	3	3	(3)	(3)			
		（単位当たりコスト）	(2,421千円)	(2,412千円)	(2,432千円)	(2,484千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
	達成率（見込）	100.0%	75.0%	(75.0%)	(75.0%)				
	目 標	-	-	-	-	-			
	実績（見込）	-	-	-	-	-			
	（単位当たりコスト）	-	-	-	-	-			
	[うち事業拡大分]	-	-	-	-	-			
達成率（見込）	-	-	-	-	-				
評価	<ul style="list-style-type: none"> 日本語指導が必要な外国人児童生徒等に対し、日本語による日本語能力向上のための支援を行い、対象児童生徒の日本語能力が向上した。 事業実施を継続していく中で、顕著な実施効果が見られ、実施市町における支援員の派遣校数は増加している。 日本語指導支援推進校での取組の成果を先行事例としてまとめ、全県発信を行った。 外国人児童生徒の学習支援につなげるため、派遣対象市町以外にも、事業の周知を行った。 各市町教委との連携により、指導者の指導力向上を図るとともに、日本語指導支援推進校における先行事例の検証を通じて、日本語指導方法の改善充実に取り組み、指導体制が確立してきたことで、支援員の資質向上が図られた。 								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	教育企画課教育企画班			
事業名	高校における遠隔授業調査研究事業（平成30年度～）				連絡先	078-362-3779			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	-		5,705千円		6,094千円		6,037千円	
	経費内訳	報酬・賃金	-		0千円		0千円		0千円
		委託料	-		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	-		0千円		0千円		0千円
		貸付金	-		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	-		5,705千円		6,094千円		6,037千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	-		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（県債）	-		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[]）	-		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	-		(5,705千円)		(6,094千円)		(6,037千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	-		1.0人		1.0人		1.0人
			-		8,677千円		8,904千円		8,983千円
		職員給与費 a	-		7,816千円		7,708千円		7,695千円
		賞与引当金繰入額 b	-		548千円		545千円		548千円
退職手当引当金繰入額 c		-		313千円		651千円		740千円	
総コスト（①+②）	従事人員	-		1.0人		1.0人		1.0人	
		-		14,382千円		14,998千円		15,020千円	
	[うち事業拡大分]	-		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	遠隔授業を行った科目数	目標	-	1	3	4			
		実績（見込）	-	2	(3)	(4)			
		（単位当たりコスト）	-	(7,191千円)	(4,999千円)	(3,755千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
		達成率（見込）	-	200.0%	(100.0%)	(100.0%)			
	達成率（見込）	目標	-	-	-	-	-		
		実績（見込）	-	-	-	-	-		
		（単位当たりコスト）	-	-	-	-	-		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-	-		
達成率（見込）		-	-	-	-	-			
評価	<p>・遠隔授業システムを活用した高校における遠隔授業の調査研究（H30～R2）を実施することで、小規模校における学校開設科目の拡大や習熟度別授業の充実など多様な学びを実現に向けた課題や成果を得ることができる。</p> <p>・H30年度は、遠隔授業システム（機器）の整備や、システムを活用した遠隔地2校（千種高校、和田山高校）において、数学、情報の授業及び生徒会交流活動を実施した。令和元年度は、国語総合、数学、情報で授業を実施した。</p>								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	高校教育課教育指導班			
事業名	「ひょうごの達人」招聘事業（平成19年度～）				連絡先	078-362-3898			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額				
	事業費①	7,441千円	7,460千円	7,460千円	7,504千円				
	経費内訳	報酬・賃金	7,441千円	7,460千円	7,460千円	7,504千円			
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円			
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（その他[]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（一般財源）	(7,441千円)	(7,460千円)	(7,460千円)	(7,504千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人			
			9,037千円	1,736千円	1,781千円	1,797千円			
		職員給与費 a	1,568千円	1,563千円	1,542千円	1,539千円			
		賞与引当金繰入額 b	109千円	110千円	109千円	110千円			
退職手当引当金繰入額 c		130千円	63千円	130千円	148千円				
総コスト（①+②）	従事人員	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人				
		16,478千円	9,196千円	9,241千円	9,301千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		実施校数（地域創生戦略推進に係るアクションプラン）	目 標	22校	22校	22校	22校	/	
		実績（見込）	22校	22校	(22校)	(22校)			
		(単位当たりコスト)	(749千円)	(418千円)	(420千円)	(423千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
		達成率（見込）	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)			
		目 標	-	-	-	-	-		
		実績（見込）	-	-	-	-			
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
	達成率（見込）	-	-	-	-				
評価	<p>・生徒の高度な資格取得やスキルアップの支援、教員の専門技術・技能の質的向上と教育力向上のために必要な事業であり、各分野の専門家を通して、職業学科を設置する高校と地域企業等との人材育成への相互理解や連携・信頼関係の構築に有効である。</p> <p>・専門家を招聘して技能伝承研修会を実施したり、優れた技能を有する社会人を特別非常勤講師（非常勤嘱託員）として採用することで人件費等コスト面の抑制を図っている。</p> <p>・各種資格取得や検定試験合格に向けた取組の充実が図られているが、更に専門性の高い資格取得等を目指せるよう、各分野の専門家の招聘を検討していく。</p>								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	義務教育課生徒指導班			
事業名	スクールカウンセラー配置事業（平成13年度～）				連絡先	078-362-3773			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	462,322千円		465,983千円		465,983千円		465,983千円	
	経費内訳	報酬・賃金	410,160千円		412,350千円		412,350千円		412,350千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	52,162千円		53,633千円		53,633千円		53,633千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(153,428千円)		(154,246千円)		(154,246千円)		(154,246千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[]）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	(308,894千円)		(311,737千円)		(311,737千円)		(311,737千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人
			9,037千円		8,677千円		8,904千円		8,983千円
		職員給与費 a	7,841千円		7,816千円		7,708千円		7,695千円
		賞与引当金繰入額 b	545千円		548千円		545千円		548千円
退職手当引当金繰入額 c		651千円		313千円		651千円		740千円	
総コスト（①+②）	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人	
		471,359千円		474,660千円		474,887千円		474,966千円	
	[うち事業拡大分]	[7,354千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	スクールカウンセラーの小学校への配置校数 (21世紀兵庫長期ビジョンフォローアップ指標)	目標	127	130	130	130	全公立小学校への配置		
		実績（見込）	127	130	(130)	(130)			
		（単位当たりコスト）	(0千円)	(3,651千円)	(3,653千円)	(3,654千円)			
		[うち事業拡大分]	[58千円]	—	—	—			
	不登校児童数の割合(小学校) (21世紀兵庫長期ビジョンフォローアップ指標)	目標	0.55	0.70	R2.10公表予定	R3.10公表予定	全国平均(0.70)を下回る		
		実績（見込）	0.52	0.65	R2.10公表予定	R3.10公表予定			
		（単位当たりコスト）	(906,460千円)	(730,246千円)	—	—			
		[うち事業拡大分]	[14,142千円]	—	—	—			
		達成率（見込）	105.8%	92.9%	—	—			
評価	児童生徒の心理的、情緒的課題や発達障害に係る課題、児童虐待等、学校が抱える課題が複雑化・多様化する中、学校と外部福祉関係機関との連携、学校内におけるチーム体制の構築や保護者への支援等の必要がある。そのため、社会福祉士、精神保健福祉士等の資格を有する者を配置して、児童生徒が置かれた環境に働きかけ、状況を改善・支援する本事業は有効である。								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	高校教育課生徒指導班			
事業名	高校生心のサポートシステム（平成13年度～）				連絡先	078-362-3778			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	69,372千円		69,372千円		69,377千円		69,381千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	69,372千円		69,372千円		69,377千円		69,381千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[]）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	(69,372千円)		(69,372千円)		(69,377千円)		(69,381千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.1人		0.1人		0.1人		0.1人
			904千円		868千円		891千円		899千円
		職員給与費 a	784千円		782千円		771千円		770千円
		賞与引当金繰入額 b	55千円		55千円		55千円		55千円
退職手当引当金繰入額 c		65千円		31千円		65千円		74千円	
総コスト（①+②）	従事人員	0.1人		0.1人		0.1人		0.1人	
		70,276千円		70,240千円		70,268千円		70,280千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
			キャンパスカウンセラーの全県立高等学校への配置校数	目 標	147	147		147	147
		実績（見込）	147	147	(147)	(147)			
		(単位当たりコスト)	(478千円)	(478千円)	(478千円)	(478千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
		達成率（見込）	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)			
		目 標	-	-	-	-	-		
		実績（見込）	-	-	-	-	-		
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-	-		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-	-		
達成率（見込）		-	-	-	-	-			
評 価	<p>・いじめや非行に係る加害及び被害生徒の立ち直りの支援、不登校生徒の再登校支援等、学校における様々な問題への対応について専門家の助言を得ながら、研究を進めていく必要はあるが、問題行動への対応や生徒の心のケアが図られる等、生徒の健全な育成に貢献している。</p> <p>・生徒の心身の健康問題の複雑化や多様化に伴い、各校の実情を踏まえ、効果的かつ効率的な配置となるよう検討し、さらにはいじめ対応チームの一員としての一翼を担う等経費の効率的な執行を行っている。</p>								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	義務教育課生徒指導班			
事業名	学級経営指導員派遣事業（平成25年度～）				連絡先	078-362-3773			
事業に要するコスト	区 分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	13,727千円		13,767千円		13,776千円		14,290千円	
	経費内訳	報酬・賃金	10,563千円		10,594千円		10,601千円		10,996千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	3,164千円		3,173千円		3,175千円		3,294千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(4,008千円)		(4,021千円)		(4,021千円)		(4,168千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[]）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	(9,719千円)		(9,746千円)		(9,755千円)		(10,122千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人
			9,037千円		8,677千円		8,904千円		8,983千円
		職員給与費 a	7,841千円		7,816千円		7,708千円		7,695千円
		賞与引当金繰入額 b	545千円		548千円		545千円		548千円
退職手当引当金繰入額 c		651千円		313千円		651千円		740千円	
総コスト（①+②）	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人	
		22,764千円		22,444千円		22,680千円		23,273千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		学級経営指導員を派遣した学校数	目 標	472	455	444	444	2年目の教員が所属する学校数以上	
		実績（見込）	867	845	(444)	(444)			
		（単位当たりコスト）	(0千円)	(27千円)	(51千円)	(52千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
		達成率（見込）	183.7%	185.7%	(100.0%)	(100.0%)			
	学級経営指導員が指導助言した回数	目 標	671	623	596	596	2年目の教員に1回以上		
		実績（見込）	1,781	1,958	(596)	(596)			
		（単位当たりコスト）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	達成率（見込）	265.4%	314.3%	(100.0%)	(100.0%)				
評価	若手教員の増加の反面、指導を担う教員が減少しており、若手教員を中心にいじめ対応など生徒指導の基盤となる学級経営の指導力向上を図る必要がある。そのため、教員OBを小・中学校に派遣し、優れた実践例の提示や学級経営に関する相談・助言により、若手教員の学級経営力、生徒指導力の向上が図ることができ、有効な事業である。								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	義務教育課生徒指導班			
事業名	市町スクールソーシャルワーカー配置補助（平成28年度～）				連絡先	078-362-3773			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	36,408千円		45,920千円		57,667千円		54,886千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	36,408千円		45,920千円		57,667千円		54,886千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	0千円		0千円		0千円		0千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(10,495千円)		(13,237千円)		(16,627千円)		(15,837千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[]）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	(25,913千円)		(32,683千円)		(41,040千円)		(39,049千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人
			9,037千円		8,677千円		8,904千円		8,983千円
		職員給与費 a	7,841千円		7,816千円		7,708千円		7,695千円
		賞与引当金繰入額 b	545千円		548千円		545千円		548千円
退職手当引当金繰入額 c		651千円		313千円		651千円		740千円	
総コスト（①+②）	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人	
		45,445千円		54,597千円		66,571千円		63,869千円	
	[うち事業拡大分]	[11,747千円]		[9,512千円]		[11,974千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	スクールソーシャルワーカー配置校区数 ※R1までは増加数 R2は配置校数 (活力あるふるさと兵庫実現プログラム)	目標	39	29	33	173	全173中学校区への配置		
		実績（見込）	41	42	(35)	(173)			
		(単位当たりコスト)	(1,108千円)	(1,300千円)	(1,902千円)	—			
		[うち事業拡大分]	[287千円]	[226千円]	[342千円]	—			
	達成率（見込）	105.1%	144.8%	(106.1%)	—				
	不登校生徒数の割合の減少(中学校) (21世紀兵庫長期ビジョンフォローアップ指標)	目標	3.38	3.81	R2.10公表予定	R3.10公表予定	全国平均(3.81)を下回る		
		実績（見込）	3.63	4.30	R2.10公表予定	R3.10公表予定			
(単位当たりコスト)		(12,519千円)	(12,697千円)	—	—				
[うち事業拡大分]		[3,236千円]	[2,212千円]	—	—				
達成率（見込）	93.1%	112.9%	—	—					
評価	児童生徒の心理的、情緒的課題や発達障害に係る課題、児童虐待等、学校が抱える課題が複雑化・多様化する中、学校と外部福祉関係機関との連携、学校内におけるチーム体制の構築や保護者への支援等の必要がある。そのため、社会福祉士、精神保健福祉士等の資格を有する者を配置して、児童生徒が置かれた環境に働きかけ、状況を改善・支援する本事業は有効である。								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	特別支援教育課教育推進班			
事業名	インクルーシブ教育システム推進事業（平成25年度～）				連絡先	078-362-3774(内5832)			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	68,626千円		65,409千円		72,000千円		81,259千円	
	経費内訳	報酬・賃金	61,056千円		62,755千円		67,200千円		71,866千円
		委託料	4,737千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	2,833千円		2,654千円		4,800千円		9,393千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(26,342千円)		(21,803千円)		(24,000千円)		(27,086千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[]）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	(42,284千円)		(43,606千円)		(48,000千円)		(54,173千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.1人		0.1人		0.1人		0.1人
			904千円		868千円		891千円		899千円
		職員給与費 a	784千円		782千円		771千円		770千円
		賞与引当金繰入額 b	55千円		55千円		55千円		55千円
退職手当引当金繰入額 c		65千円		31千円		65千円		74千円	
総コスト（①+②）	従事人員	0.1人		0.1人		0.1人		0.1人	
		69,530千円		66,277千円		72,891千円		82,158千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	個別の教育支援計画の引継割合	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		目標	100%	100%	100%	100%			
		実績（見込）	98%	97%	(100%)	(100%)			
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—			
	[うち事業拡大分]	—	—	—	—				
	達成率（見込）	98.0%	97.0%	(1.0%)	(1.0%)				
	医療的ケアの必要な幼児児童生徒に対する看護師の配置割合（対象幼児児童生徒のいる学校全校に配置）	目標	15校	15校	16校	17校			
		実績（見込）	15校	15校	(16校)	(17校)			
(単位当たりコスト)		(4,635千円)	(4,418千円)	(4,556千円)	(4,833千円)				
[うち事業拡大分]		—	—	—	—				
達成率（見込）	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)					
評価	個別の教育支援計画の引継ぎについては、中学校から高等学校への引継ぎにおけるガイドラインを作成するとともに、効果的な活用について、研修や会議等で周知徹底を図っているところである。また、医療的ケアを必要とする幼児児童生徒が安全に安心して学校生活を送るために、本事業は必要である。引き続き国庫補助を活用しながら、継続していく。								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	義務教育課 初等・中学校教育班			
事業名	ひょうごがんばり学びタイム（平成26年度～）				連絡先	078-362-3771			
事業に要するコスト	区 分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	64,200 千円		75,756 千円		84,744 千円		79,170 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円
		委託料	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円
		補助金・交付金	64,200 千円		75,756 千円		84,744 千円		79,170 千円
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円
		その他需用費等	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(21,400千円)		(25,252千円)		(28,248千円)		(26,390千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[]）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	(42,800千円)		(50,504千円)		(56,496千円)		(52,780千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人
			9,037 千円		8,677 千円		8,904 千円		8,983 千円
		職員給与費 a	7,841 千円		7,816 千円		7,708 千円		7,695 千円
		賞与引当金繰入額 b	545 千円		548 千円		545 千円		548 千円
退職手当引当金繰入額 c		651 千円		313 千円		651 千円		740 千円	
総コスト（①+②）	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人	
		73,237 千円		84,433 千円		93,648 千円		88,153 千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度目標	最終目標【年度】		
	「全国学力・学習状況調査」における学力調査で全科目(8科目)全国平均以上の科目数(地域創生戦略推進に係るアクションプラン)	目 標	8	8	8	8	8		
		実績(見込)	6	5	(3)	(8)			
		(単位当たりコスト)	(12,206 千円)	(16,887 千円)	(31,216 千円)	(11,019 千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	達成率(見込)	75.0%	62.5%	(37.5%)	(100.0%)				
	—	目 標	—	—	—	—	—		
		実績(見込)	—	—	—	—	—		
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	—		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—	—		
達成率(見込)	—	—	—	—	—				
評 価	各市町に事業を委託しており、近隣の教員OB等の地域人材を活用するなど各市町が工夫して提案する方法で補充学習実施のための人材を確保することにより、コストの抑制につながっている。								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	義務教育課生徒指導班			
事業名	兵庫版道徳教育副読本の配布（平成22年度～）				連絡先	078-362-3773			
事業に要するコスト	区 分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額				
	事業費①	17,100千円	17,100千円	17,100千円	17,100千円				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円			
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	17,100千円	17,100千円	17,100千円	17,100千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（その他[]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（一般財源）	(17,100千円)	(17,100千円)	(17,100千円)	(17,100千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人
			9,037千円	8,677千円	8,904千円	8,983千円			
		職員給与費 a	7,841千円	7,816千円	7,708千円	7,695千円			
		賞与引当金繰入額 b	545千円	548千円	545千円	548千円			
退職手当引当金繰入額 c		651千円	313千円	651千円	740千円				
総コスト（①+②）	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	
		26,137千円	25,777千円	26,004千円	26,083千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	子どものふるさと意識を醸成するため、兵庫版道徳教育副読本を活用した年間時間(小学校) (活力あるふるさと兵庫実現プログラム)	目 標	6.0	6.0	6.0	6.0	6時間確保		
		実績(見込)	6.0	6.0	(6)	(6)			
		(単位当たりコスト)	(4,356千円)	(4,296千円)	(4,334千円)	(4,347千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
	達成率(見込)	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)				
	目 標	目 標	-	-	-	-			
		実績(見込)	-	-	-	-			
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
達成率(見込)	-	-	-	-					
評 価	郷土に誇りを持ち、人と人とのつながりや自己の責任や義務、役割を自覚するなど、自己の生き方の拠り所となるような心に響く副読本の配布は、子どもたちは道徳教育として、保護者は家庭教育を、地域住民は地域の子育てを考える共通の教材として必要である。								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	義務教育課生徒指導班			
事業名	道徳教育推進事業（平成23年度～）				連絡先	078-362-3773			
事業に要するコスト	区 分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	6,540千円		8,527千円		8,584千円		7,425千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	4,000千円		4,000千円		4,040千円		2,856千円
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	2,540千円		4,527千円		4,544千円		4,569千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(6,540千円)		(8,527千円)		(8,584千円)		(7,425千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[]）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人
			9,037千円		8,677千円		8,904千円		8,983千円
		職員給与費 a	7,841千円		7,816千円		7,708千円		7,695千円
		賞与引当金繰入額 b	545千円		548千円		545千円		548千円
退職手当引当金繰入額 c		651千円		313千円		651千円		740千円	
総コスト（①+②）	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人	
		15,577千円		17,204千円		17,488千円		16,408千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	保護者・地域住民に対する兵庫版道徳教育副読本等を用いた授業公開を全学級で実施した学校の割合 (21世紀兵庫長期ビジョンフォローアップ指標)	目 標	100	100	100	100	全学級での公開		
		実績（見込）	84.1	92	(100)	(100)			
		(単位当たりコスト)	(185千円)	(186千円)	(175千円)	(164千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	道徳教育推進担当研修の実施(参加した学校の割合) (21世紀兵庫長期ビジョンフォローアップ指標)	目 標	100	100	100	100	公立全小中学校の参加		
		実績（見込）	100	100	(100)	(100)			
		(単位当たりコスト)	(156千円)	(172千円)	(175千円)	(164千円)			
[うち事業拡大分]		—	—	—	—				
	達成率（見込）	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)				
評価	ひょうご教育創造プランに掲げる「豊かな心」の育成に向けて、兵庫版道徳教育副読本等を活用した「道徳科」を要とした道徳教育の充実を図る必要がある。推進地域による道徳教育の推進、実践研修の実施、実践研究のまとめの作成・配布により、各地域の取組を県内に広げることができる。								
	3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	高校教育課高校教育推進班				
事業名	外国人による英語指導の充実（昭和62年度～）				連絡先	078-362-9447				
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額		
	事業費①	652,179千円		651,686千円		658,639千円		658,639千円		
	経費内訳	報酬・賃金	466,805千円		467,025千円		472,220千円		472,220千円	
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円	
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他需用費等	185,374千円		184,661千円		186,419千円		186,419千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（その他[国際交流事業交付金]）	(171,618千円)		(171,833千円)		(172,575千円)		(174,271千円)	
		（一般財源）	(480,561千円)		(479,853千円)		(486,064千円)		(484,368千円)	
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.4人		0.4人		0.4人		0.4人	
			3,614千円		3,470千円		3,561千円		3,593千円	
		職員給与費 a	3,136千円		3,126千円		3,083千円		3,078千円	
		賞与引当金繰入額 b	218千円		219千円		218千円		219千円	
退職手当引当金繰入額 c		260千円		125千円		260千円		296千円		
総コスト（①+②）	従事人員	0.4人		0.4人		0.4人		0.4人		
		655,793千円		655,156千円		662,200千円		662,232千円		
	〔うち事業拡大分〕	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】			
		外国人外国語指導助手指導校数(高校)	目標	147	147	147	147	全県立高校で実施		
		実績(見込)	147	147	(147)	(147)				
		(単位当たりコスト)	(4,461千円)	(4,457千円)	(4,505千円)	(4,505千円)				
		〔うち事業拡大分〕	-	-	-	-				
		達成率(見込)	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)				
		目標	-	-	-	-	-			
		実績(見込)	-	-	-	-	-			
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-				
		〔うち事業拡大分〕	-	-	-	-				
	達成率(見込)	-	-	-	-					
評価	<p>・経済・社会等のグローバル化が進展する中、国際社会において地球的視野に立ち、主体的に行動する態度、能力を培い、国際的に活躍できるグローバル人材を育成するためには、英語のコミュニケーション能力を身につけることが必要であり、事業としても有効である。</p> <p>・国際系学科などへの重点配置など、各学校の特色に応じて配置することで、全県立高等学校へ効率的にALTの配置を行なっている。スピーキングテスト、ライティング指導などが充実し、生徒の学習効果をより丁寧に評価できている。</p> <p>・全県立高等学校へのALT配置により、英語によるコミュニケーション能力の向上や異文化理解への態度の育成、幅広い国際的な視野の育成が図られており、今後も目標達成に向け計画的に取組を進める。</p>									
3年目の見直し	-									

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	高校教育課高校教育推進班			
事業名	高校生留学促進事業（平成24年度～）				連絡先	078-362-9447			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	20,764千円		18,864千円		17,034千円		30,369千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	19,000千円		17,100千円		15,270千円		28,875千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	1,764千円		1,764千円		1,764千円		1,764千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(16,264千円)		(14,364千円)		(13,734千円)		(17,069千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[]）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	(4,500千円)		(4,500千円)		(3,300千円)		(13,300千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.4人		0.4人		0.4人		0.6人
			3,614千円		3,470千円		3,561千円		5,390千円
		職員給与費 a	3,136千円		3,126千円		3,083千円		4,617千円
		賞与引当金繰入額 b	218千円		219千円		218千円		329千円
退職手当引当金繰入額 c		260千円		125千円		260千円		444千円	
総コスト（①+②）	従事人員	0.4人		0.4人		0.4人		0.6人	
		24,378千円		22,334千円		20,595千円		35,759千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[10,000千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		高校生の海外留学支援者数	目標	160	160	160	160		
		実績（見込）	127	131	(160)	(160)			
		（単位当たりコスト）	(192千円)	(170千円)	(129千円)	(223千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	[63千円]			
		達成率（見込）	79.4%	81.9%	(100.0%)	(100.0%)			
	高校生の海外留学者率	目標	-	-	-	2.0%	2.5%		
		実績（見込）	-	-	-	(2.0%)	【令和4年度】		
		（単位当たりコスト）	-	-	-	-			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
達成率（見込）		-	-	-	100.0%				
評価	<p>国際社会において地球的視野に立ち、主体的に行動する態度、能力を培い、国際的に活躍できるグローバル人材を育成するため、英語のコミュニケーション能力を身につけ、高校生が主体性、積極性を持って海外に目を向ける環境を整え、海外留学の支援をすることができ、生徒の語学力向上への意欲を高めている。海外留学の支援対象者選考については、市立・私立高等学校も含めて、（公財）兵庫県高等学校教育振興会に委託し一括実施することで、選考にかかる経費の抑制を図っている。</p> <p>外国語学習に熱心に取り組み留学を希望するも、家庭の経済的な理由により参加が困難な生徒を支援することにより、高校生の海外留学者率の向上を図る。</p>								
	3年目の見直し								

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	高校教育課高校教育推進班			
事業名	県立高校国際交流事業（平成19年度～）				連絡先	078-362-9447			
事業に要するコスト	区 分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	10,116千円		10,116千円		10,116千円		9,875千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	10,116千円		10,116千円		10,116千円		9,875千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[]）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	(10,116千円)		(10,116千円)		(10,116千円)		(9,875千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.6人		0.6人		0.6人		0.6人
			5,423千円		5,207千円		5,343千円		5,390千円
		職員給与費 a	4,705千円		4,690千円		4,625千円		4,617千円
		賞与引当金繰入額 b	327千円		329千円		327千円		329千円
退職手当引当金繰入額 c		391千円		188千円		391千円		444千円	
総コスト（①+②）	従事人員	0.4人		0.6人		0.6人		0.6人	
		15,539千円		15,323千円		15,459千円		15,265千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたいと思う高校生(3年生)の割合	目 標	47.0	50	50	50			
		実績（見込）	48.5	44.3	(50)	(50)			
		(単位当たりコスト)	(320千円)	(346千円)	(309千円)	(305千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
		達成率（見込）	103.2%	88.6%	(100.0%)	(100.0%)			
	-	目 標	-	-	-	-	-		
		実績（見込）	-	-	-	-	-		
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-	-		
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-	-		
達成率（見込）		-	-	-	-	-			
評価	<p>高校生が海外でのホームステイや現地高校生との交流をとおして、異文化を理解・尊重する態度を身につけ、高校生の幅広い国際的視野を育成するために必要であるとともに、教育関係者が国際的識見を高め、指導力向上を図り、次世代を担う生徒の育成に必要な事業である。</p> <p>派遣先及び派遣元国において、相互主義に基づく協定書を締結し、役割分担を整理しており、高校生交流については、生徒渡航費用を受益者負担とするなど、受益と負担の適正化を図っている。また、教員交流については、教員育成及び教育内容充実の一環として県費負担により実施することが妥当である。</p>								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり	所管課班	高校教育課教育指導班				
事業名	スーパーグローバルハイスクール事業（平成26年度～）	連絡先	078-362-9447				
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額		
	事業費①	40,000千円	40,000千円	30,000千円	—		
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	—	
		委託料	0千円	0千円	0千円	—	
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	—	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	—	
		その他需用費等	40,000千円	40,000千円	30,000千円	—	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(40,000千円)	(40,000千円)	(30,000千円)	—	
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	—	
		（その他[]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	—	
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	—	
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.2人	0.2人	0.2人	—	
			1,807千円	1,736千円	1,781千円	—	
		職員給与費 a	1,568千円	1,563千円	1,542千円	—	
		賞与引当金繰入額 b	109千円	110千円	109千円	—	
退職手当引当金繰入額 c		130千円	63千円	130千円	—		
総コスト（①+②）	従事人員	0.2人	0.2人	0.2人	—		
		41,807千円	41,736千円	31,781千円	—		
	〔うち事業拡大分〕	[0千円]	[0千円]	[0千円]	—		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】
		課題研究に関する国外の研修参加者数	目標	270	270	230	—
		実績（見込）	302	270	(230)	—	
		（単位当たりコスト）	(138千円)	(155千円)	(138千円)	—	
		〔うち事業拡大分〕	—	—	—	—	
		達成率（見込）	111.9%	100.0%	(100.0%)	—	
	課題研究に関して企業や大学教員等の外部人材が参画した延べ人数（地域創生戦略推進に係るアクションプラン）	目標	360	360	360	—	360
		実績（見込）	596	360	(360)	—	【令和元年度】
		（単位当たりコスト）	(70千円)	(116千円)	(88千円)	—	
		〔うち事業拡大分〕	—	—	—	—	
達成率（見込）		—	—	(100.0%)	—		
評価	<p>急速にグローバル化が進展する状況を踏まえ、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーを高等学校段階から育成する必要がある。そのために、海外の大学・高校、国際機関、国内の大学・企業等と協働で調査研究に取り組むことは、グローバル・リーダーに必要な社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身につけるための体制整備に有効。</p> <p>国で新たに展開される「地域との協働による先進的教育研究開発事業」において本事業の成果を踏まえた取組を実施。</p>						
3年目の見直し	—						

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	高校教育課高校教育推進班			
事業名	ひょうごスーパーハイスクール事業（平成30年度～）				連絡先	078-362-9447			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	—		15,000千円		15,000千円		15,000千円	
	経費内訳	報酬・賃金	—		0千円		0千円		0千円
		委託料	—		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	—		0千円		0千円		0千円
		貸付金	—		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	—		15,000千円		15,000千円		15,000千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	—		（0千円）		（0千円）		（0千円）
		（県債）	—		（0千円）		（0千円）		（0千円）
		（その他[]）	—		（0千円）		（0千円）		（0千円）
		（一般財源）	—		（15,000千円）		（15,000千円）		（15,000千円）
	人件費②（a+b+c）	従事人員	—		0.1人		0.1人		0.1人
			—		868千円		891千円		899千円
		職員給与費 a	—		782千円		771千円		770千円
		賞与引当金繰入額 b	—		55千円		55千円		55千円
退職手当引当金繰入額 c		—		31千円		65千円		74千円	
総コスト（①+②）	従事人員	—		0.1人		0.1人		0.1人	
		—		15,868千円		15,891千円		15,899千円	
	[うち事業拡大分]	—		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	課題研究に関する国外の研修参加者数	指標	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
		実績（見込）	—	—	300	147	300	300	
	課題研究に関して大学や企業の外部人材が参画した延べ人数	（単位当たりコスト）	—	—	（108千円）	（53千円）	（53千円）	（53千円）	/
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	49.0%	（100.0%）	（100.0%）	（100.0%）	
		指標	—	—	400	529	500	500	
	達成率（見込）	—	—	—	—	132.3%	（100.0%）	（100.0%）	
		（単位当たりコスト）	—	—	（30千円）	（32千円）	（32千円）	（32千円）	/
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	—	—	
達成率（見込）	—	—	—	—	—	—			
評価	<p>急速にグローバル化が進展する状況を踏まえ、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーを高等学校段階から育成する必要がある。</p> <p>教育委員会と各学校との事務分担等を整理し、事業効果を高めつつ、事業終了後も各学校が取組を継続できるよう経費面での効率的運用を図る。</p> <p>今後も海外の大学・高校、国際機関、国内の大学・企業等と協働で調査研究に取り組むなど、グローバル人材育成を図るため、県立高等学校の現在の取組をさらに発展させる。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり			所管課班	高校教育課 高校教育推進班 教育指導班 (高校改革担当・産業教育担当)			
事業名	地域との協働による先進的教育研究開発事業 (令和元年度～)			連絡先	078-362-9447 078-362-3817 078-362-3898			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額			
	事業費①	—	—	15,000 千円	21,900 千円			
	経費内訳	報酬・賃金	—	—	0 千円	0 千円		
		委託料	—	—	0 千円	0 千円		
		補助金・交付金	—	—	0 千円	0 千円		
		貸付金	—	—	0 千円	0 千円		
		その他需用費等	—	—	15,000 千円	21,794 千円		
	(財源内訳)	(国庫支出金)	—	—	(15,000千円)	(21,900千円)		
		(県債)	—	—	(0千円)	(0千円)		
		(その他[])	—	—	(0千円)	(0千円)		
		(一般財源)	—	—	(0千円)	(0千円)		
	人件費② (a+b+c)	従事人員	—	—	0.1人	0.1人		
			—	—	891 千円	899 千円		
		職員給与費 a	—	—	771 千円	770 千円		
		賞与引当金繰入額 b	—	—	55 千円	55 千円		
退職手当引当金繰入額 c		—	—	65 千円	74 千円			
総コスト (①+②)	従事人員	—	—	0.1人	0.1人			
		—	—	15,891 千円	22,799 千円			
	[うち事業拡大分]	—	—	[0千円]	[14,992千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
		国の指定を受けた学校数	目標	—	—	3	5	
		実績(見込)	—	—	(2)	(5)		
		(単位当たりコスト)	—	—	(7,946 千円)	(4,560 千円)		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	[2,998千円]		
		達成率(見込)	—	—	(66.7%)	(100.0%)		
	国の指定を受けた学校で、先進的な研究に取り組む生徒の割合	目標	—	—	100%	100%	100%	
		実績(見込)	—	—	(100%)	(100%)	【令和3年度】	
		(単位当たりコスト)	—	—	(159 千円)	(228 千円)		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	[150千円]		
	達成率(見込)	—	—	(100.0%)	(100.0%)			
評価	<p>Society5.0の実現に向け、地域を分厚く支える人材の育成が必要である。そのために、高等学校が自治体、大学、産業界等と協働してコンソーシアムを構築し、地域課題の解決等の探究的な学びを実現する取組を推進することが必要である。</p> <p>教育委員会と各学校との事務分担等を整理し、事業効果を高めつつ、事業終了後も各学校が取組を継続できるよう経費面での効率的運用を図る。</p>							
	3年目の見直し	—						

事務事業評価調書

施策体系		未来に挑む人づくり			所管課班		高校教育課教育指導班				
事業名		高大接続改革推進事業（学力向上モデル校事業）（令和元年度～）			連絡先		078-362-9444				
事業に要するコスト	区分		29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額		
	事業費①		—		—		13,166千円		15,957千円		
	経費内訳	報酬・賃金	—		—		0千円		0千円		
		委託料	—		—		0千円		0千円		
		補助金・交付金	—		—		0千円		0千円		
		貸付金	—		—		0千円		0千円		
		その他需用費等	—		—		13,166千円		15,957千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	—		—		（0千円）		（0千円）		
		（県債）	—		—		（0千円）		（0千円）		
		（その他[]）	—		—		（0千円）		（0千円）		
		（一般財源）	—		—		（13,166千円）		（15,957千円）		
	人件費②（a+b+c）		従事人員	—	従事人員	—	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	
			—		—		891千円		899千円		
	職員給与費 a		—		—		771千円		770千円		
	賞与引当金繰入額 b		—		—		55千円		55千円		
退職手当引当金繰入額 c		—		—		65千円		74千円			
総コスト（①+②）		従事人員	—	従事人員	—	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人		
		—		—		14,057千円		16,856千円			
[うち事業拡大分]		—		—		[0千円]		[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区分		29年度実績		30年度実績		元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】
	指定校における大学教授等による発展的な授業の回数		目 標		—		—		25	30	45
			実績（見込）		—		—		(15)	(30)	
			（単位当たりコスト）		—		—		(937千円)	(562千円)	
			[うち事業拡大分]		—		—		—	—	
	達成率（見込）		—		—		(60.0%)	(100.0%)			
	指定校（3校）において、大学が開発した教育プログラムを取り入れた教育課程を開発・実践することにより、生徒の学力向上を図る方策の一つとして有効である。		目 標		—		—		—	—	—
			実績（見込）		—		—		—	—	—
			（単位当たりコスト）		—		—		—	—	—
			[うち事業拡大分]		—		—		—	—	—
達成率（見込）		—		—		—	—	—	—		
評価	<p>・地域の学びの中核として有為な人材を育成してきた地方の県立高校が、その役割を發揮できるように、高校と大学が連携して発展的高大接続プログラムを実施する。</p> <p>・指定校（3校）において、大学が開発した教育プログラムを取り入れた教育課程を開発・実践することにより、生徒の学力向上を図る方策の一つとして有効である。</p>										
3年目の見直し	—										

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	高校教育課教育指導班 (高校改革担当)			
事業名	STEAM教育(新たな文理融合型教育)の展開(令和2年度~)				連絡先	078-362-3817			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①	-		-		-		19,500千円	
	経費内訳	報酬・賃金	-		-		-		0千円
		委託料	-		-		-		0千円
		補助金・交付金	-		-		-		0千円
		貸付金	-		-		-		0千円
		その他需用費等	-		-		-		19,500千円
	(財源内訳)	(国庫支出金)	-		-		-		(9,750千円)
		(県債)	-		-		-		(0千円)
		(その他[])	-		-		-		(0千円)
		(一般財源)	-		-		-		(9,750千円)
	人件費②(a+b+c)	従事人員	-	従事人員	-	従事人員	-	従事人員	0.5人
		-		-		-		4,492千円	
		職員給与費 a	-		-		-		3,848千円
		賞与引当金繰入額 b	-		-		-		274千円
退職手当引当金繰入額 c		-		-		-		370千円	
総コスト(①+②)	従事人員	-	従事人員	-	従事人員	-	従事人員	0.5人	
	-		-		-		23,992千円		
	[うち事業拡大分]		-		-		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
		指定校が招聘した外部の専門家の人数	目標	-	-	-	15		
		実績(見込)	-	-	-	(15)			
		(単位当たりコスト)	-	-	-	(1,599千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
	達成率(見込)	-	-	-	100.0%				
	STEAM教育の本格実施(新学科・コース・類型の設置等)	目標	-	-	-	-	STEAM教育本格実施		
		実績(見込)	-	-	-	-	【令和5年度】		
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
達成率(見込)		-	-	-	-				
評価	<p>Society5.0時代において、実社会で起こる諸問題を解決に導く力や、ICT、IoT等を活用した新たな価値を生み出す力を備えた人材の育成が急務である。</p> <p>この人材を可能とする「STEAM教育」を、中学校及び高等学校教諭に向けた講演会により広報するとともに、モデル校においてカリキュラム開発を行い、効率的に「STEAM教育」の推進を図る。</p>								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	義務教育課 初等・中学校教育班			
事業名	地域人材を活用した小学校英語教育支援充実事業（平成29年度～）				連絡先	078-362-3771			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額				
	事業費①	10,000千円	10,000千円	9,400千円	—				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	—			
		委託料	0千円	0千円	0千円	—			
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	—			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	—			
		その他需用費等	10,000千円	10,000千円	9,400千円	—			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(3,333千円)	(3,333千円)	(3,133千円)	—			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	—			
		（その他[]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	—			
		（一般財源）	(6,667千円)	(6,667千円)	(6,267千円)	—			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	1.0人	1.0人	1.0人	従事人員	—		
			9,037千円	8,677千円	8,904千円	—			
		職員給与費 a	7,841千円	7,816千円	7,708千円	—			
		賞与引当金繰入額 b	545千円	548千円	545千円	—			
退職手当引当金繰入額 c		651千円	313千円	651千円	—				
総コスト（①+②）	従事人員	1.0人	1.0人	1.0人	従事人員	—			
		19,037千円	18,677千円	18,304千円	—				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	—				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	小学校外国語における地域人材等の外部人材活用した実施校数(地域創生戦略推進に係るアクションプラン)	目標	200	400	588	—	588		
		実績(見込)	177	400	(588)	—	【令和元年度】		
		(単位当たりコスト)	(108千円)	(47千円)	(31千円)	—	/		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	達成率(見込)	88.5%	100.0%	(100.0%)	—				
	—	目標	—	—	—	—	—		
		実績(見込)	—	—	—	—	—		
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	/		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
達成率(見込)	—	—	—	—					
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度からの小学校外国語活動及び英語科の実施に伴い、市町及び学校における英語指導の充実を図る。 ・各市町での事業実施にあたっては、教員OB等地域人材を活用するなど、各市町が工夫して事業実施するとともに、国事業（国庫1/3）を活用することでコストを抑制。 ・地域によっては地域人材の確保に課題が見られたことから、県内大学との連携や各市町を対象とした説明会で人材確保を呼びかけ、事業を実施。 ・令和元年度で全小学校（588校）において、地域人材等の外部人材活用した英語指導の充実が図られ、令和2年度から各市町及び学校で小学校外国語活動及び英語科を本格実施。 								
	3年目の見直し	—							
		—							
		—							

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	教職員課 管理・調整班				
事業名	メンタルヘルス総合対策事業（平成16年度～）				連絡先	078-362-3749				
事業に要するコスト	区 分		29年度決算額		30年度決算額		元年度当初予算額		2年度当初予算額	
	事業費①		21,653千円		21,544千円		21,645千円		22,191千円	
	経費内訳	報酬・賃金	12,771千円		12,864千円		12,864千円		12,440千円	
		委託料	4,997千円		4,997千円		5,090千円		5,090千円	
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他需用費等	3,885千円		3,683千円		3,691千円		4,661千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（その他[]）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（一般財源）	(21,653千円)		(21,544千円)		(21,645千円)		(22,191千円)	
	人件費②（a+b+c）		従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人
			904千円		868千円		891千円		899千円	
	職員給与費	a	784千円		782千円		771千円		770千円	
	賞与引当金繰入額	b	55千円		55千円		55千円		55千円	
退職手当引当金繰入額	c	65千円		31千円		65千円		74千円		
総コスト（①+②）		従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	
		22,557千円		22,412千円		22,536千円		23,090千円		
[うち事業拡大分]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区 分		29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
	療養者数の減少		目 標		184	184	184	184	184人以下 (H25の数値 (230人)から 20%減	
			実績（見込）		221	246	(218)	(184)		
			（単位当たりコスト） [うち事業拡大分]		—	—	—	—		
			達成率（見込）		83.3%	74.8%	(84.4%)	(100.0%)		
	リワーク支援プログラム参加者の再発率%(復帰後1年以内)		目 標		15	15	15	15	15%以内	
			実績（見込）		0	23	(0)	(15)		
			（単位当たりコスト） [うち事業拡大分]		—	(974千円)	—	(1,539千円)		
			達成率（見込）		100.0%	65.2%	100.0%	(100.0%)		
	評価	<ul style="list-style-type: none"> 療養者数について、令和元年度は減少する見込みであるものの、依然として目標値とは開きがあるため、さらなる取組みが必要である。 平成30年度未達成であったリワーク支援プログラム参加者の再発率については、令和元年度は達成見込みであるが、再発防止に有効なプログラムであることから、引き続き実施する。 								
3年目の見直し	—									

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	義務教育課 初等・中学校教育班			
事業名	幼児教育連携促進事業（令和元年度～）				連絡先	078-362-3771			
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額				
	事業費①	—	—	17,503千円	10,622千円				
	経費内訳	報酬・賃金	—	—	0千円	0千円			
		委託料	—	—	0千円	0千円			
		補助金・交付金	—	—	0千円	0千円			
		貸付金	—	—	0千円	0千円			
		その他需用費等	—	—	17,503千円	10,622千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	—	—	(0千円)	(0千円)			
		（県債）	—	—	(0千円)	(0千円)			
		（その他[]）	—	—	(0千円)	(0千円)			
		（一般財源）	—	—	(17,503千円)	(10,622千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人
		—		—		8,904千円		8,983千円	
		職員給与費 a	—	—	7,708千円	7,695千円			
		賞与引当金繰入額 b	—	—	545千円	548千円			
退職手当引当金繰入額 c		—	—	651千円	740千円				
総コスト（①+②）	従事人員	—	従事人員	—	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	
	—		—		26,407千円		19,605千円		
	[うち事業拡大分]		—		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】		
	幼児教育の質の向上を図る研修会に参加した園所の割合	目標	—	—	80	80	80		
		実績（見込）	—	—	(46)	(80)			
		（単位当たりコスト）	—	—	(580千円)	(245千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	達成率（見込）	—	—	(56.9%)	(100.0%)				
	学びの連続性に関する園内研修を実施した園所の割合	目標	—	—	100	100	100		
		実績（見込）	—	—	(100)	(100)			
		（単位当たりコスト）	—	—	(264千円)	(196千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
達成率（見込）	—	—	(100.0%)	(100.0%)					
評価	子ども子育て支援新制度により、幼保一元化が図られ、3歳児以上の幼児期の終わりまでに育てほしい姿が共通して示された。そのため、幼稚園、認定こども園、保育所の関係する機関が連携して、教員等の能力アップ、保護者の幼児教育に対する理解の推進等について協議を行い、幼児教育の更なる充実が求められることから事業の実施を行う。実施にあたっては、各幼児教育施設の教員等を対象とした既存の研修事業との関連を図り、内容やコストの効率化を図る。								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	社会教育課社会教育班		
事業名	地域と学校の連携・協働体制構築事業（平成28年度～）				連絡先	078-362-3782		
事業に要するコスト	区分	29年度決算額	30年度決算額	元年度当初予算額	2年度当初予算額			
	事業費①	100,832千円	103,584千円	84,927千円	84,949千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	94,638千円	98,512千円	80,725千円	80,725千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	6,194千円	5,072千円	4,202千円	4,224千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(49,383千円)	(50,946千円)	(41,761千円)	(41,769千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他[]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（一般財源）	(51,449千円)	(52,638千円)	(43,166千円)	(43,180千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.8人	0.8人	0.8人	0.8人		
			7,230千円	6,941千円	7,123千円	7,186千円		
		職員給与費 a	6,273千円	6,253千円	6,166千円	6,156千円		
		賞与引当金繰入額 b	436千円	438千円	436千円	438千円		
退職手当引当金繰入額 c		521千円	250千円	521千円	592千円			
総コスト（①+②）	従事人員	0.8人	0.8人	0.8人	0.8人			
		108,062千円	110,525千円	92,050千円	92,135千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度目標	最終目標【年度】	
	地域住民による学校地域連携の仕組みを有する小・中学校の割合（政令市・中核市を除く）	目標	90	100	100	—	100	
		実績（見込）	90	97	(100)	—	【令和元年度】	
		（単位当たりコスト）	(1,201千円)	(1,139千円)	(921千円)	—	/	
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—		
	（活力あるふるさと兵庫実施プログラム目標における指標） 統括的な地域学校協働活動推進員を配置する市町の割合（政令市・中核市を除く） （第3期ひょうご教育創造プランにおける指標）	目標	—	—	35	50	100	
		実績（見込）	—	—	(42)	(50)	【令和5年度】	
		（単位当たりコスト）	—	—	(2,192千円)	(1,843千円)	/	
[うち事業拡大分]		—	—	—	—			
達成率（見込）	—	—	(120.0%)	(100.0%)				
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働本部（地域住民による学校地域連携の仕組み）の設置を進めることができ、積極的な地域学校協働活動が実施されている。 ・令和2年度からは、「地域学校協働本部」が持続可能な仕組みとするための体制整備に引き続き取り組むとともに、「地域学校協働本部(活動)」、「学校運営協議会（コミュニティ・スクール(CS)）」等、地域と学校が連携・協働する仕組みの一体的推進を図る。 							
3年目の見直し	—							